

旭川市報道依頼

各報道機関 様

発表日	令和2年10月21日
発信課	文化振興課
担当者	諸戸
連絡先	電話 内線 8-6324
	FAX 0166-25-8210
	E-mail

分類	イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日程	11月 28日(土)
発表項目 (行事名)	文学講座
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>第1回文学講座 趣旨:市民に広く文学に親しむ機会を提供することを目的として、旭川工業高等専門学校教授、石本裕之氏をお招きし、文学講座を開催いたします。</p> <p>演題 「井上作品の中の「対話」—『花壇』エピソード②」</p> <p>日時 令和2年11月28日(土)午後1時30分から午後3時まで</p> <p>場所 井上靖記念館ラウンジ(旭川市春光5条7丁目)</p> <p>定員 20名(事前予約が必要)</p> <p>参加料 無料</p> <p>申込み 電話(0166-51-1188)またはFAX(0166-52-1740)</p>
添付資料	<p><input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 チラシ</p> <p>(有・無のいずれかを囲むこと。)</p> <p>※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。</p>
報道(取材)に当たってのお願い	<p>その他詳細については、井上靖記念館にお問合せください。</p> <p>電話 51-1188 FAX 52-1740</p> <p>担当 上田</p>
備考	



数多ある井上靖作品の中には、作品をまたがって登場するエピソードが幾つかある。涙あり笑いありのエピソードたちが自在に組み込まれるさまは、多種多様に富む井上靖作品群の大きな特徴の一つと言えよう。

長篇小説『花壇』は、それらエピソードの宝庫である。講座では、井上靖作品における「対話」の特徴を見ていきたい。

令和2年 11月28日(土)

場 所：井上靖記念館ラウンジ

時 間：午後1時30分より3時まで

講 師：国立旭川工業高等専門学校教授 石本裕之 氏

参加料：無 料 定 員：20人

申 込：電話で当館まで

演題 井上作品の中の「対話」
『花壇』エピソード②

・マスクの着用・咳エチケットにご協力をお願いいたします。

・必ず手指の消毒をお願いいたします。

・密を避けるため職員の指示に従っていただきますようお願いいたします。

講師プロフィール》

石本裕之

Ishimoto Hiroyuki



国立旭川工業高等専門学校教授。公益財団法人北海道文学館評議員。

昭和 33(1958)年、北海道札幌市生れ。屯田兵の子孫。北海道大学文学部卒業、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了。中国哲学専攻。

学部在学時、北大文芸部部長(第三代)、同人誌『春楡』発行人。

日本中国学会、宮沢賢治学会、全国漢文教育学会、北海道大学中国哲学会等に所属。主著は、『論語の思想史』(汲古書院・共著)、『莊子の中の孔子』(響文社)、『宮沢賢治イーハトーブ札幌駅』(響文社)。

平成 20～29 年(第 41～50 回)、小熊秀雄賞選考委員。平成 21～26 年、旭川井上靖記念館運営協議会委員(平成 24～26 年会長)、同館・文学講座にて井上靖作品に関する講演(平成 19 年～)。三浦綾子文学賞(平成 26 年)一次選考員の一人。

平成 28 年(第 58 号)から『旭川市民文芸』(旭川文化団体協議会)詩部門の選考を担当。

井上靖記念館での文学講座 (平成 24 年以降)

平成 24 年 「一枚の絵」の中の父母一子としての井上靖

平成 25 年 井上靖『孔子』と『論語』—孔子と弟子たちとのつながり

平成 26 年 『ある偽作家の生涯』を読む—人間や運命に対する井上靖のものの見方について

平成 27 年 井上作品と中島敦『山月記』

平成 28 年 井上靖の最後の短篇集『石濤』から二編—井上文学、老境の対話

平成 29 年 井上靖における、生きることと歴史—短編「生きる」から

平成 30 年 小説「結婚記念日」について—井上靖短編集『愛』から

令和元 年 井上靖小説『花壇』の位置づけ—エピソード 1. 亡き娘の幻